

坂下高校
賢・剛・優

**修学旅行に
行ってきました**

11月16日(水)、17日(木)に2年生が修学旅行で伊勢方面に行ってきました。天気にも恵まれ、伊勢神宮の由緒ある歴史に触れたり、鳥羽水族館で生き物に癒やされたりして、2日間の研修を満喫しました。宿泊したホテルではテーブルマナー講習を受け、フォーマルな場でも恥ずかしくない大人になれるようにマナーを学びました。

コロナ禍でいろいろな制限がありますが、学校ではできない体験を通して、仲間との絆も深まりました。



坂下中学校
超升先輩

命の授業

11月16日(水)、第3学年において、助産師さんにお越しいただき「命の授業」を2時間続きで行いました。義務教育を終える今だからこそ「命の重み」について、再度考える大変よい機会となりました。また、2時間目には「しあわせな結婚・妊娠・出産のために」というテーマでお話をしていただき、これから生徒が直面するであろう「性」にかかわる現場の生の声を聴くことができました。生徒は「自分の家族が私を生むために大変な思いをして、また、ここまで育ててくれたことに感謝するべきだと思いました。」というような自分を支えてくれている家族への感謝の思いをもつことができました。



坂下小学校
ダイヤモンド

研究発表会

11月18日(金)、中津川市教育委員会「教育課題推進指定」の研究発表会を行いました。「対話を生かして学を深める子」を研究主題に、これまで教師と児童が一緒になって作り上げてきた「交流活動の中で学びを深める算数の授業」、「交流活動の中で学びを確かめる算数の授業」を多くの先生方に見ていただきました。

参観された先生からは「やる気に満ちあふれた学級に感動しました。」「仲間と交流することで、確かな学力につながっていると感じました。」「ICTも活用しながら、自分たちで学習を進める姿を見習いたいと思いました。」など多くの感想をいただきました。



坂下保育園
かがやく瞳

焼き芋会

園庭内にある畑で育てたさつまいもを収穫し、焼き芋会をしました。アルミホイルで包んださつまいもを、熾きの中に放り込んで焼けるのを待ちました。「まだかな～」と楽しみな子ども達。給食を食べている間に焼き芋が出来上がったので、みんなで食べました。「おいしい!!」「おかわりはある?」と、もっと食べたい子ども達でした。後日、残っていたさつまいもを使って、幼児組がお釜でさつまいもご飯を炊きました。さつまいもご飯もとても美味しく、自分たちで育てたさつまいもを味わっています!



《 1月の主な行事 》

日	行事名	時間	場所
1日	元旦走り初め・新春イキイキ健康ウォーキング	10:00~	宮の前農村公園
2月	交通安全祈願祭	9:00~	坂下神社
4水	官公庁 仕事始め		
5木	出雲福德神社五日えびす大祭	8:30~	出雲福德神社
8日	やさか二十歳の集い	9:30~11:30	坂下公民館
18水	行政・人権相談	13:30~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
19木	いきいき元気教室	13:00~	坂下公民館3階大会議室
26木	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
27金	やさか地区農業委員会・農地相談	9:30~	坂下総合事務所

慶弔のお知らせ

11月11日から12月10日の坂下総合事務所への届出分

●ご逝去 (敬称略)

なわ	いくよ	(87歳)	大門
名和	幾代		
もり	しげこ	(94歳)	下外
森	しげ子		
はやかわ	しょういち	(90歳)	宮前町
早川	正一		

前月号 年末特別収集日の訂正について

㊦ 12月29日(木)

㊦ 12月29日(水)

訂正してお詫び申し上げます。

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所
電話 0573-75-2111
FAX 0573-75-4704
Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

人口と世帯数

(令和4年12月1日現在)

人口	4,146人(前月比4人減) 男2,011人、女2,135人
世帯数	1,667世帯(前月比1世帯減)

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日★
燃えないごみ	1月4日(水)
資源・硬質ごみ	1月11日(水)
大型ごみ	1月20日(金)
有害ごみ	1月25日(水)

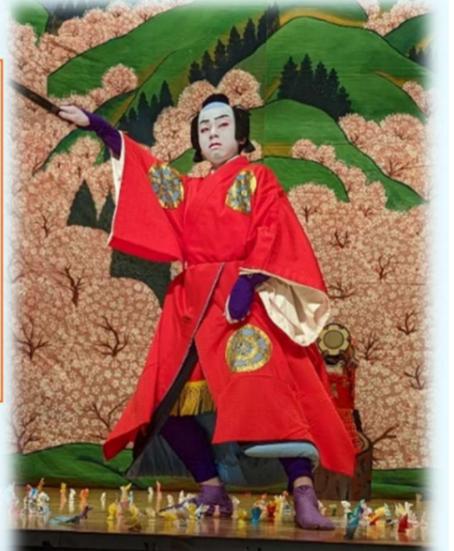
2023年(令和5年)1月1日



第53回坂下歌舞伎公演開催!

11月27日(日)坂下公民館多目的ホールで、「第53回坂下歌舞伎公演」が開催されました。同時に「令和4年度坂下歌舞伎子ども教室発表会」も行われ、小学2年生から中学3年生までの子どもたちが稽古の成果を披露しました。

感染症の影響で定期公演は延期されていましたが、その間も2回の「清流の国ぎふ地歌舞伎勢揃い公演」に出演するなど活動を続け、今回3年ぶりに定期公演を開催することができました。当日は役者、裏方が一丸となって舞台を盛り上げ、熱のこもった演技に観客から大きな拍手が湧きおこりました。



椈の湖神社の歴史と巖島神社との関係

～観光協会50周年を記念して～

椈の湖において、昭和44年日本で初めての野外音楽フェスティバルとなる「全日本フォークジャンボリー」が開催されました。最後の第3回が開催された翌年の昭和47年、フォークジャンボリーでの賑わいを目にした当時の坂下町長の吉村新六氏が地域の観光振興を目的に自ら会長となり「坂下町観光協会」を設立し、その一環として椈の湖観光開発に着手しました。

翌昭和48年3月、広島県宮島の巖島神社の宮司と吉村町長が友人関係にあったことから、巖島神社から分社のご配慮をいただき御神符を迎い入れることになり、椈の湖に浮かぶ小島(椈の湖2号古墳)に「椈の湖神社」を建立しました。毎年4月には地区内で開催されるイベントや祭りの成功と安全を祈願する「観光安全祈願祭」を開催しています。

椈の湖神社の御神符は、巖島神社から5年毎にお迎えをしており今年がその節目に当たることから「観光協会設立50周年記念事業」と併せ、11月7日(月)に観光協会会長をはじめ、関係者が代参人として巖島神社神殿において「御祈祷」を受け御神符をお迎えして来ました。

11月10日(木)には、御神符を椈の湖神社に納めてきました。

やさか観光協会 会長 吉村 俊廣



▲ 椈の湖に浮かぶ小島(椈の湖神社)

「育脳」講演会を開催しました

11月22日(火)、川上休養村センターにて、やさか地区乳幼児学級が合同で「子育て講演会」を開きました。子育て中の保護者がじっくり話を聞き子育てについて考える機会になるようにと、年に1回託児のある講演会を開催しています。今年度は、育脳インストラクターの水野貴久枝氏を講師に迎え「0～3歳の脳を育む子育て～脳のしくみからみる7つの習慣づくり～」と題してお話していただきました。脳科学を通してみる子育てのコツはわかりやすく、ぜひ実践してみたいという声が多くありました。また、久しぶりにゆっくり話を聞いたという感想もあり、子育て中の保護者にこそ必要な機会だと再認識しました。



「未来へつなげる」小中学校市制70周年記念事業 記念講演

11月24日(木)、坂下中学校へ、落語家の林家染太さんにお越しいただき、「笑う門には福来る ～いじめられっ子のぼくが落語家になったワケ～」という演題にて、90分間の講演をしていただきました。

講演の中で林家さんは、中学校時代に受けた壮絶ないじめの体験をお話しされ「どんなに苦しくても死んではいけない。生きていれば必ず楽しい未来がある」ことを熱く生徒へ語りかけていただきました。

また、人生をより良いものにする秘訣として、①プラスの言葉を使うこと ②「魔法の言葉」(ありがとう、ごめんなさい等)を使うこと ③自分の居場所を見つけること ④夢をもつこと の4つを生徒へ示していただきました。講演会後半には、本物の落語に生徒が触れ、林家染太さんの話に夢中になっていました。今回の講演で学んだことを日々の生活へつなげていくことを期待しています。



街頭啓発をしました 青少年健全育成推進市民会議坂下支部

12月3日(土)、やさか地区の青少年健全育成各支部合同の冬季街頭啓発運動が、ショッピングセンターサラと道の駅きりら坂下の駐車場で行われました。買い物に訪れたお客様に啓発品を配布して、年末年始の青少年の見守りを呼びかけました。



1月は「家庭の日」普及強調月間です。家族で過ごす時間を通じて、改めて家庭の大切さを見つめてみましょう。

民生委員児童委員及び主任児童委員の改選について

12月1日(木)、中津川市民生委員児童委員及び主任児童委員の一斉改選があり委嘱状等伝達式が執り行われました。任期3年(令和4年12月1日～令和7年11月30日)

【退任されたみなさん】 大変お世話になりました。敬称略

加藤 重郎	早川 和子	加藤 泰久
原 晶子	西尾実代子	額額みゆき

●年末年始 閉庁日のお知らせ●

- 坂下総合事務所
12月29日(木)～1月3日(火) 閉庁
(戸籍の受付(死亡届等)は、坂下公民館で行います)
- 坂下公民館
12月27日(火)～1月5日(木) 閉館
12月29日(木)～1月3日(火)の8:30～17:15に限り、戸籍の受付(死亡届等)を行います。
- 坂下総合体育館
12月26日(月)～1月5日(木) 閉館
- 国保坂下診療所
12月29日(木)～1月3日(火) 休診
(1月2日(月)の9:00～17:00は、休日当番のため緊急の診療のみ受診できます)
- あおぞら
12月29日(木)～1月3日(火) 閉庁

【改選された委員のみなさん】 敬称略

担当区	氏名	備考
第1区	西尾 厚子	再任
第2区	糸魚川謙二	新任
第3区	原 正幸	再任
第4区	齋藤 秀雄	再任
第5区	吉村 典恭	新任
第6区	林 歩	再任
第7区	楯 嘉淳	新任
第8区	森 晃	新任
第9区	稲熊美千代	再任
第10区	古田 静昭	新任
主任児童委員	古井 公子	再任
主任児童委員	林 裕子	新任

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会員

しらき ひさやす
白木 久裕

〈坂下の昔ばなし3 濃が池 その2〉

昔は災害が起これば神に祈ってきました。「風雨順時 五穀豊穰」という祈願文があります。頼るところは神様しかなく、芸能などを奉納して真剣にお祈りをしていました。「人身御供(ひとみごころ)」という言葉がありますが、最後は人身をお供えし希望が叶うようお願いをすることもありました。そんな濃が池の話もあるので紹介します。

「続・美濃と飛騨のむかし話」(岐阜県小中学校長会編)の第四部冒頭に「のうが池」(野田満 さしえ・山田輝夫)があります。その一部を紹介します。坂下公民館図書室に書籍があるので読まれるのを期待しています。

この坂下の町も、むかしはススキの草原で、カヤぶきの家が、あっちにぼつり、こっちにぼつりの、それはさびしい村であった。その年はとくに天気ぐあいが悪くて、毎日毎日、やりのような雨がふり続いた。……村はもう大さわぎで、おとなはみんな、みのかさをつけ、くわをかついで、一本スギの丘に集まる。「ことしも『のう』があばれだしたぞよ。」「こりゃ、もう手もつからん。」みんな、……、しんばいそうにみつめるばかりだ。……

ここで、「ミヤ」という5才ぐらいの女の子とその母が登場し、母が大雨を降らせている怪物のうについて怖い昔話を聞かせます。大雨が降り続いた時に、村ではミヤと同じ年頃の女の子をのうに差し出し大雨が降り続けるのを止めてきたこと、最後の女の子は自分からのうのところへ行っただが、不思議なことにのうと話をして帰ってきたことなどです。

ひるすぎになってもおとなたちは、一本スギの下で、雨だれに顔をしかめながら、なんだかんだとさわいでいた。……そのころ、ミヤは、母のとめるも聞かないで、……坂下の野っばらに出かけた。『のう』に会って「もうええかげんに、あばれるのをやめてくろ。」とたのむつもりだ。……(ミヤは)坂下の村の、ど真ん中に出た。そのとき、『のう』も、ちょうど坂下のまん中あたりへ、黒雲に乗って出てきた。……(何年か前に約束した)女の子と、そっくりのそのまま……目をくろぐろとかがやかせ、……命でもかけたようなしんけんな顔で歩いている。……「や、や、女の子は、いいかげんにあばれるのをやめんかと、えらくえらくおこっているぞ。」……「……けなげな女の子をおこらせたくなかった。」「『のう』はよこしょと、中原にふんばっていた右足をあげ、なにかひと声さけんだかと思うと、北の空へかけ去っていった。……雨はやみ、やっとかめに日がさしてきて、まずミヤの後ろのススキに照った。

この後、叫び声から『黍生(きびう)』と字名が出来たとし、揖斐の山国にも『鬼姫生(きびう)』という字名があり『のえ』という怪物がいたと紹介されています。

▶ さしえ1 大雨をふらすのう



▲ さしえ2 母から話を聞くミヤ

▶ さしえ3 のうに呼びかけるミヤ



毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議

1月 15日 ・みんな そろって たのしい ごはん